

家庭教育だより

第3号
平成21年3月10日発行

家庭教育講演会

「子どもを守るPTICA」

【共催】
円山まちづくり委員会
円山母親クラブ

二月二十七日、円山公民館ホールにおいて、家庭教育講演会が開催されました。学校行事などもある中、約八十名の参加者で会場はいっぱいでした。

2月にも関わらず暖かい土曜の午後、小・中学校の保護者・先生を始め、円山地区のみなさん、また先生のお話をぜひ聞きたいと地区外からもたくさんの方にお越しいただきました。会場後方には、子ども連れで参加の方のためにホットカーペット席も用意しました。

今回ご講演いただいたのは、大阪教育大学監事の野口克海先生。大阪弁での親しみやすい語り口と話術にすっかり引き込まれてしまいました。乳幼児期にたっぷり愛情を注いでしつかりした安定根を作ること、また思春期には《同行二人》同じ方向いて一緒に寄り

添っていくという、子どもの成長段階に合わせた子育てが大切だそうですが、反対になる傾向が多くなるようです。その他にも先生の体験からくるお話はとても興味深く、時には笑いを、時には涙を誘い、あつという間の2時間でした。



安定根のある、“同行二人”の子育てを…



円山地区でも核家族化が進み、子どもの逃げ場が少なくなっている。今、地域がその役割を果たしていかなければなりません。PTICA・P：親・T：先生・C：地域・A：共に手をとりあい・みんなです。もたちを見守っていきたく

*裏面に参加者の感想を掲載していますので合わせてご覧下さい。



アンケートより…

昨年10月と今年2月に、主に家庭教育支援事業の周知に関するアンケートを円山小3年保護者対象に実施いたしました。地域差のある中、県下一斉の統一された内容で大変わかりにくかったことをお詫び申し上げます。今回、その中で出てきました質問についてお答えいたしますので参考にしてください。

Q) 支援チームの具体的な活動は広報誌に載っているのでしょうか？ 活動がどんなものなのかよくわからない

A) 不定期ですが、家庭教育だよりを発行しています(今回で第3号)。支援チームが結成されたのが昨年9月、実質的に動き始めて数ヶ月というところ。活動内容など具体的なことにつきましては、今後もおたよりの発行に加え、円山公民館のホームページでも紹介していますので詳しくはそれらをご覧ください。

Q) 応援チームに存在している人は学校の父兄の方ですか？もしそうであれば相談もしにくいかと思えます。家の悩みを相談できるような口の堅いしっかりした人でないと心は開きません。外部の専門的な人なら前向きにはなるかと思えますが。

A) 現在チーム員は円山地区在住の12名で、うち小学校の父兄は2名です。チーム員は保育士や教員・看護師などの有資格者、民生児童員、主任児童員、母子福祉員、子育てサポートリーダーなどで構成されています。深刻なものやプライバシーの関係で地区の方には相談しづらいという内容に関しては、専門機関などとのパイプ役になれたらと思っています。それらのシステムについては現在検討中です。

Q) いいお話(講演)などがあっても参加者が少ないのが残念。

A) これは円山地区・家庭教育に関わらずいろんな面で言われています。今回の講演会(2/27)も小中学校での配布、地区内の全戸配布、小学校の一斉メール、ホームページでの紹介に口コミなど、広報にあらゆる方法をとってみました。今後も広報手段や日程など考慮して、多くの方に参加していただけるようにしていきたいと思っています。

貴重なご意見をありがとうございました。今後もお気づきの点がありましたら公民館までお寄せ下さい。

2月27日の講演の感想

・・・たくさんの感想をありがとうございました

●今の私の子育ては“同行二人”が欠けていると痛感しました。子育て中のわたしたちも、積極的に地域の行事などに参加していくべきだと思いました。いろいろな話を聞かせていただき、今日はありがとうございました。

●私は2年ほど前、先生の講演を聞かせていただきもう一度お聞きしたいと思っていただけるところ、本日のお話があることを教えていただき、とても楽しみに待っていました。私たち親は、わが子に愛情を持って接しても、子どもはそれをうるさがったり逆にとったり・・・いろいろです。でも本日のお話を聞き“このままでよいのかな”と思えるようになりました。これからは何事に対しても、私自ら一生懸命一人ひとりを受けとめて、一日一日を大切に過ごして生きたいと思えます。どうもありがとうございました。

●孫が今年1年生に入ります。子どもが元気に楽しく過ごせますよう（学校で過ごせるよう）願って、初めて講演会に寄せていただきました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

●親としての心構え・・・地域のひとりとしての心構え・・・地域力の強化・・・など、考えさせられた講演内容でした。まずは地域に戻り、子育て支援で「安定根」「しつけ」「やっぴらん！」の話をさせていただこうと思っています。本日はありがとうございました!!

●とても楽しくおもしろく聞かせていただきました。涙が出るほど反省すること、自分の間違っていて考えたことが恥ずかしい思いがします。本日は話を聞けなかったらずっと知らずに自分の思いのまま終わるところでした。本当に良いお話でした。愛のシャワーの大切さ。人の子も自分の子もみな宝です。

●涙腺の緩むような心温まるお話でした。昔も今も教育・子育ての基本は変わらないとは思いますが、現代の問題は、昔のように単純ではなくなっているように思います。そのあたりについてのお話もいただきましたかと思えます。

●思春期の子を持つ親で、日々心配事がつきませんが、安定根の話聞いて安心しました。今のままの育て方でいいと確信が持てました。

●涙がとまらず胸いっぱいです。この貴重なお話を少しでも子・孫・地域へ生かしていけたらと切に思っています。本当に素晴らしいご講演でした。

●自分の子どもの子育てについて、また、まわりの子どもたちを地域の中で大切に育てることについて考えるきっかけをいただきました。先生のお話をふまえて、地域の方々や岡山地区にあった方法を考えていきたいと思います。

●「安定根」がしっかりしているから・・・という言葉にはっとさせられました。3人の子を夢中で育てている今、もう過ぎた乳児期ではあるものの、がんばって育てていた安定根の時期を私の宝としてこれからの育児に挑んでいきたいと思います。

●同行二人・・・つい向かい合ったりそっぽを向いたりしてしまいがちですが、肝に銘じていきたいと思います。

●野口先生のお話はとてもわかりやすく、涙あり笑いありであつという間でした。またお聞きしたいです!!

●大変良い話を聞かせてもらいました。涙が出て本当に感動しました。今日は良い話を聞いて心があらわれました。またこのような機会があったら参加したいと思えます。本当に良かったです。久々に心が温かくなり、今後いろいろなことに励んでいきたい。

●今まで聞いたどの教育に関する講演よりも、すばらしい講演でした。やはり人には愛情が何よりも大切だと思います。私はまだ子どもがおりませんが、今日先生に習ったことを生かしていけたらと思えます。先生の体験談、感動しました。時間がたつのがとても早かったです。もっと聞きたかった気分・・・。ありがとうございました!!

●私の子どもも不登校でしたが、地域の方のあたたかな見守りで今は高校にも行けている状態です。安定根の話聞いて、自分はどうかだったか思い出し、少し自信がつかしました。

●とてもいいお話をありがとうございました。乳幼児期の子育てがとても大事だということを感じました。安定根がしっかりしている子どもに育てていきたいと思えます。

●先生の実例を交えながらの笑いあり涙ありのお話に気がつけば終わっていたという感じでした。子どもは小・中学生ですが、今からでも遅くない!今からでもできる!と思えたのが一番の収穫です。本当にありがとうございました。また機会があったらお話を聴きたいです。

●64歳になりましたが、まだ役に立つことがあるように思いました。

●私の子育ては終わりましたが、娘にも子どもを育てる大事な幼児期、今日のお話を伝えたいと思えます。とてもわかりやすく楽しいお話でした。

●「Education Village」構想はこれから必要とされると思えます。私も日頃、図書室を一般に開放して欲しいと願っていました。

●本当に良い話を聞かせていただきました。自分の子育ての時期は仕事に追われて出来なかったが、今日のような話を聞いていたらよかったのと思う。

●とてもいいお話をきかせていただき感無量です。自分の子育てをついつい思い起こしながら、なるほどとうなずきながら、恥ずかしくもたくさん涙してしまいました。

●遅くない、まだまだ間に合いますよ、の言葉に励まされ、わが子に（もう二十歳すぎている息子や娘に）もっと愛のシャワーを注いでいこうと思えます。

●また地域の力の大切さを感じました。でもどういうふうに地域で関わったらいいのか悩んでいます。

●子育てや家庭教育・・・中・高校生の親にはもう関係ない、今からでは遅いと思っていました。目からうろこではないですが、私の中でのちょっとした意識改革でした。今からでも同行二人の精神でいきたいと思います。